

「いわて人間讃歌」イラストについて

県では、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を記念し、人間の素晴らしさをたたえ、ふるさとの復興と振興を誓うシンボルとして、東北出身の漫画家・荒木飛呂彦氏に執筆を依頼し、「いわて人間讃歌」イラストを作成しましたので、お知らせします。

当該イラストにより、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を一層盛り上げるとともに、国体・大会以降も、岩手県の目指す地域社会のあり方を象徴的に表現したものとして、長期にわたって活用していきます。

1 「いわて人間讃歌」イラストについて

(1) 作成意図

- 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催を契機に醸成される県民総参加的な盛り上がりをもとに、東日本大震災津波からの復興、人口減少問題の克服に取り組むふるさと振興の更なる前進につなげていく。
- 年齢や性別、心身の障がいの有無に関わりなく、お互いの個性や尊厳を認め合う「共生」や社会への「参加」といった意識の醸成を図りながら、県民一人ひとりがこころ豊かに、共にいきいきと暮らし、幸せを実感できるような、人間を大事にする社会を目指す。

(2) 作者

荒木飛呂彦氏（漫画家）

昭和35年、宮城県仙台市生まれ。代表作は『ジョジョの奇妙な冒険』。日本の漫画家で初めてルーヴル美術館の企画展に原画が展示されたほか、海外有名ブランドとのコラボレーション企画を展開する等、国際的に高い評価を受けている。平成23年、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録を機に本県が発表した「東北復興平泉宣言」のイメージイラストを手掛け、大きな話題となった。

(3) イラストの内容

豊かな自然、誇りある歴史と文化等、本県を象徴する様々なもので彩られたゲートが開き、若き女性主人公が、希望あふれる明るい未来に向かって力強く疾走する姿が描かれている。

(4) タイトル「いわて人間讃歌」

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を経て、ふるさとの復興と振興に邁進する力強さやたくましさ、未来を切り開いていこうとする強い意志が生まれ、これからの岩手の新しい地域社会を作り上げていこうと意欲的に取り組む県民の姿、そして岩手が目指す人間を大事にする社会のあり方、それらに通底するテーマが「人間讃歌」であることから、イラストのタイトルを「いわて人間讃歌」としたものの。

（裏面に続く）

2 イラストの活用について

(1) 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会開催期間

国体・大会関係者をはじめ大勢の来場者に、これからの岩手への思いや応援メッセージを書き込んでいただく**大型メッセージボード**を設置するほか、フォトスポットとなるような**大型ポスター**を掲示し、イラストに込められた思い等を共感・共有する場とする。

区分	場 所	市町村	内 容	期 間
開閉会式 会 場	北上市総合運動公園陸上競技場	北上市	大型	10/1(土)～11(火) 及び 10/22(土)～24(月)
パブリック ビューイング 会 場	もりおか歴史文化館前広場	盛岡市	メッセージボード	10/1 (土)
	J R盛岡駅前「滝の広場」			10/22(土)～24(月)
	イオンスーパーセンター 陸前高田店	陸前高田市	大型 ポスター	10/1 (土) 及び 10/22 (土)
	サン・リア	大船渡市		
	イオンタウン釜石	釜石市		
	マスト	大槌町		
	シートピアなあと	宮古市		
	やませ土風館	久慈市		
ニコア	二戸市			

(2) 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会以後

岩手県の目指す社会のあり方を象徴的に表現したものとして、様々な情報発信の場で掲示するなど、長期的に活用していく。

「いわて人間讃歌」イラスト 説明文

「広げよう 感動。伝えよう 感謝。」—— 岩手県では、2016年の希望郷いわて国体（第71回国民体育大会）と希望郷いわて大会（第16回全国障害者スポーツ大会）を記念し、人間の素晴らしさをたたえながら、ふるさとの復興と振興を誓うシンボルとして、[いわて人間讃歌] を作成しました。

岩手は、豊かな自然に生まれ、誇りある歴史と文化で形づくられています。[いわて人間讃歌] では、岩手を象徴する様々なもので彩られたゲートが開き、若き女性主人公が力強く疾走する姿を、漫画家・荒木飛呂彦氏が描いています。

年齢や性別、心身の障がいの有無に関わりなく、お互いの個性や尊厳を認め合う。こころ豊かに、共にいきいきと暮らし、幸せを実感する。そのように、人間を大事にする社会を、岩手から作り上げていきましょう。

[いわて人間讃歌] の主人公が目指すゴールは、希望あふれる明るい未来です。